



「話して聞かせよう、大切な事」

梅雨の季節に入り、曇天と雨が交互に続く季節となりましたが、木の実での子ども達の遊びや活動は、四月からどんどん変化し、内容も豊かになり、進化といってもよいほどの姿が見られるようになってきました。

どのクラスを訪ねても、子ども達から「園長先生、こんなん、こんなん。」「これ見て、これ見て。」と声をかけてきてくれるのが、子ども達の活動に夢中になり、楽しんでいる何よりの証拠。先日は、保育雑誌の取材に入ったカメラマンさんからも、初めて会った人にも親しげに「見て、見て」の子ども達からの誘いが本当にうれしく、楽しく取材できたとの感想も頂きました。ご家庭でも子ども達の口から園でのそんな様子も聞かれているかとは思いますが。

さて、先月は、オードリー・ヘプバーンさんの『美しい唇であるためには、優しい言葉を使いましょう。素敵なお目であるためには、人々の良い部分を探しましょう。』という言葉引用して、子どもが周囲の大人が話す言葉から大きな影響を受ける事、人が生きていくうえで大切な考え方についてお話ししましたが、今月は、子どもが自然と周囲から学ぶことだけではなく、大人が子どもの目を見て、思いを込めて語ることの意味、その大切さについてお話ししたいと思います。

「スマホに子守りをさせないで。」こんなお話、最近聞かれたことはありませんか。子どもが生まれた時からスマホやタブレットが当たり前にある環境になりましたが、今や大人もスマホなしでは生活できない状況です。誰もがいつも小さな画面を見続けているのが日常となりましたが、本来は、人が人と直接向き合ってお互いの感情や気持ちを読み取り、言葉や考えを整理し、思いを伝え合って、言葉のキャッチボールを楽しむ。これは人が理解し合い、信頼し、共に生活するうえで本当に大切な事なのですが、近頃は、赤ちゃんや幼児がむずかると、お母さんやお父さんが言葉と表情であやすのではなく、子どもの目の前にスマホをぶら下げて、画面の動画で子どもを静かにさせるということ、あちこちで見かけます。

これが長期に渡って習慣化すると、子どもの発達や心理に相当な影響がでるのでと、私は大変危惧しています。まず、近いものを見すぎる事から起こる乳幼児の視力への悪影響。加えて、画面からの一方通行なので、子どもが人の感情や気持ちを感じ、読み取る力が育ちにくくなるのは避けられないのではないかと。親の手のぬくもりを感じながら、親の目や口の動き、言葉の数々から気持ちや思いを感じ取る、それに応えて子どもも拙いながらも目や口、顔や手足を使って自分の感情や気持ちを伝えようとする。そのやりとりを乳児から何度も繰り返していくうちに、子どもはさまざまな事を学習していき、表情や言葉で意思疎通できる面白さ、楽しさを知り、情緒が安定していきます。何より、「人を信頼する」という、心の安定にとって一番大切な感情が形成されるのです。

こうした経験が乳幼児期から出来ていないと、思い通りにならない現実と直面すると癡癡をおこし、攻撃的な感情の爆発を起こす事が少年期以降、頻りに起こり、しんどい人生を背負ってしまう可能性が高くなるのではないかと。何より、人を信頼して、「人の話を聞く」という行動、人から言葉と話を聞いて学び、自分の行動をコントロールする力が身につきません。

幼児期も3歳以降になると、「してはいけない事」を学んでいく必要が出てきます。0歳から2歳児までは、ダメダメの子育てではなく、まずは「してみたい・試してみたい」の気持ちと行動を理解し、出来るだけ受け入れて、自己肯定感をしっかり高めてやる時期です。しかし、3歳児になると生活の中で「してはいけない」事を、しっかりと教え、理解させていく必要が出てきます。時には叱られるというネガティブな経験もしながら、世の中には「してはいけない事」があることを教え、それはなぜしてはいけないかの理由をちゃんと話してやり、語ってやる必要が大人にはあります。世の中には「ならぬこと」がいっぱいあり、それを守る事でみんなが気持ちよく生活できることを、少しずつ、機会を見て親、大人は子どもの目を見ながら、じっくり向き合って話し、伝えたいと思うのです。

幼児、子どもに「ばか、あほ、まぬけ」などの汚い言葉で感情的にどなるだけの大人は、子どもに恐怖感を与えるだけで、何も伝えていない、語っていません。話している中で出てくる「なんで？」にはゆっくり説明して、理由と意味、特に人として大事な事を話してやってほしい。人としてしてはならない事と同時に、何が大切なのか、どんなことを大事にしないといけないのか、これからも親、大人はしっかりと語り、話し続けたいと願う今日この頃です。

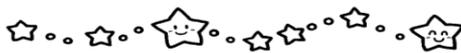


行事予定



- 1 (月)、2 (火) 全学年対象 検尿実施 別紙配布済みの案内をご確認ください。
- 4 (木) お弁当日
- 5 (金) セタ クラス写真撮影 みんなで飾った笹飾りの前で集合写真を撮ります。
- 8 (月) 火祭り セタに関連した行事を行います。
- 19 (金) 1学期終業式 (午前保育) 早朝・保育終了後の預かり保育はありません。
- 22 (月)～24 (水) 夏季保育 (午前保育 ※早朝・午前保育後預かり保育 有り)
- 7/25 (木)～8/2 (金)・19 (月)・20 (火) 夏季特別預かり保育 (申込者のみの参加)
- 8/21 (水) 夏季保育 (午前保育 ※早朝・午前保育後預かり保育 有り)
- 22 (木) 地蔵祭り (Aグループ) Aグループ園児のみ登園
- 23 (金) 地蔵祭り (Bグループ) Bグループ園児のみ登園
- 26 (月)～8/30 (金) 夏季保育 (午前保育 ※早朝・午前保育後預かり保育 有り)

下記参照



お知らせ



☆7月22～24日、8月21、26～30日(土日を除く)は夏季保育です。この期間は午前保育の時間ですので、バスやお迎え等お間違えないようお願い致します。持ち物等、別紙お便りを配布します。また、夏季保育期間中も早朝預かり保育、午前保育終了後の預かり保育を実施致します。

☆7月25日～8月2日、19、20は夏季特別預かり保育です。事前に申し込まれた方のみ参加となります。
※この期間の早朝預かり保育は実施致しません。

☆地蔵祭りについて

年間行事予定でもお知らせしていた通り、下記の日程で今年度の地蔵祭りを開催します。(参加は園児のみです。)

- ・8月22日(木)→Aグループ園児、23日(金)→Bグループ園児の予定です。
各自該当日のみの登園のため、2日間の内1日しか登園しません。(早朝・保育終了後預かり保育 無し)
- ・登園、降園時間は通常時間帯(バス送迎も実施)となり、お弁当持参となります。
- ・その他内容や詳細は、現在検討中です。